関連項目:指導体制プラン②

きらきらつながるため協働体制で取り組む

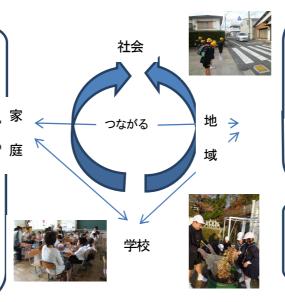
目的

本校の児童は、自己有用感があると感じている者が約40%と低いことが課題となっています。そこで、 力によるのではなく、子どもの心を受けとめ包み込む生徒指導をチームで行うことにしました。「行動 や言葉」の指導と「心」の指導がつながるという観点から、「行動や言葉」の奥にある「心」を思いや り、道徳教育と関連づけた心にひびく生徒指導ができればと考え、学校、家庭、地域、関係機関が連携 して取り組みます。

内容

親子ドッジボール大会 児童と保護者が対戦。親 子のふれあいを深めます。

保護者参加型の学習 家庭でも学校と同じよう に声かけすることで、より 道徳的実践力が身に付く ようにしています。(1年 エプロンのたたみ方)



地域の子どもたちを地域で育てる 毎日、ラブリバーの方々や保護者、 警察、少年育成センターの方々に協力 していただき、安全に登下校していま す。徐々にあいさつの輪が広がり、運 転手の方とも交流が深まっています。

草木染め

地域の人のよさや郷土、自然のすば らしさに触れています。

学級目標を全校生の前で発表 生活目標を具体的にして共通実践します。「今週の目標は、A (あいさつは) K (心を込めて) B (ぼくも私も)です。」

落ち葉拾い

美化委員会が全校生に呼びかけ、異学年 で活動します。社会の中の一員であると いう自覚を持たせようと取り組みます。

グループワーク

相手を理解する心を養ったり自尊感情を高めたりするものとして、教育支援センター等の関係機関と連携し定期的に実施しています。

主体的に生活をつくっています。

- み (身だしなみ)
- そ (掃除)
- あ (挨拶)
- じ (時間を守る)

学習規律もみんなで見直す

一貫性のある指導も発達の段階や 児童の特性に応じて行えるよう、 教職員が話し合う時間や場を持ち ます。

しっかりと学習するための気持ち、持ち物の準備はできていますか? できているところには、〇をつけましょう。					
	11/7(月)	11./8(炔)	11./9(水)	11./10(末)	11/11(
① 鉛筆(5本くらい) はきちんと削れ ていますか					
② 学習に必要なもの(数料書・ノー ト・学者など川はそうっていますか。					
 チャイム着席はできましたか。 					
④ 影響よく解析できていますか。					
⑤ 早じきを使っていますか。					
6 6日、自主報覧をされくらいしましたか。(〇分間)					

成果

学校生活に落ち着きが見られ、心のこもったあいさつや歌声の響く、掃除の行き届いた美しい学校になってきました。学校という小さな社会から、将来、一般社会にスムーズにつながっていくことのできる子どもを育成するために、家庭や地域が同じ価値観の上に立ち、子どもたちを見守り、導いていけるよう取り組みました。

課題である自己有用感(約40%)のさらなる育成のため、次年度は、異学年活動の充実を図ろうと考えています。